

# 〔優良賞〕 レンチ不要の易施工継手「KKベスト」



代表取締役社長  
東尾 清吾 氏

東尾メック株式会社

〒586-0012 大阪府河内長野市菊水町8-22

TEL. 0721 (53) 2281

<http://www.mech.co.jp/>

ステンレス鋼管用の新しい拡管式継手「KKベスト」は、レンチが要らず、究極の簡易な施工を実現したことで、従来製品と比べ接合時間を約72%短縮できる。また生産性の向上に加えて、施工品質を均一化できる構造や機能設計を採用しているため、技能レベルに左右されず、トラブルを未然に防止できる。

従来から拡管式継手は、市場における信頼度が高く、機械式継手の中で約8割のシェアを占めている。拡管式の信頼性は残しつつ、課題である生産性の悪さを改善できる新しい拡管式継手の開発により、建築業界の生産性アップに貢献し、シェアの獲得を狙う。

従来製品は拡管工程の後に、継手本体とナットや管を接続する際、大きく重いレンチを用いる必要があった。KKベストは、非力な人でも手作業で簡単にミスなく接続できるように開発した。拡管工程では拡管後にレンチを用いずナットを取り外せる。また中空配管でも、ベースとなる拡管機に油圧ホースを介して遠隔電動式拡管機に接続すれば拡管できることから、体に重い負担がかかる作業を排除し、安全な拡管作業ができるようになった。

継手本体と拡管部が一体になったナットとの接合工程では、ナットを手で45°回転させた後、樹脂製のFIロックリングを手で差し込むだけで接続が完了するため、体に重い負担がかかる作業を排除するとともに、従来製品に比べ施工時間を大幅に短縮できる。

